

衛星基幹放送に係る周波数の使用に関する基準の一部を改正する省令案について

- デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会による「衛星放送ワーキンググループ取りまとめ」（令和 6 年12月）では、限られた周波数帯域をより効率的に使用することが可能となること、また、同じ映像符号化方式を使用することで、2 K 放送と 4 K 放送が同一の中継器を使用することができるようになること等の理由により、**H E V C 方式を 2 K 放送に使用する選択肢を設ける制度整備を実施することが望ましい**とされたところ。
- それを踏まえ、**「衛星基幹放送に係る周波数の使用に関する基準」（令和 2 年総務省令第 9 号）を一部改正**する。

主な改正箇所

H E V C 方式を 2 K 放送に使用する際の上限スロット数として、従来の M P E G - 2 方式による 2 K 放送※¹と同等以上の画質が確保できるよう、令和 2 年度・3 年度に実施した調査及び令和 6 年度に実施した事業者団体による画質主観評価の結果を踏まえ、**B S 放送で 25 スロット、C S 放送で 20 スロットを規定する。**※²、³（**赤字部分**）

- ※ 1 … 現在、B S 放送では一の映像の符号化された映像信号の水平方向の輝度信号の画素数を 1,440 及び 1,920、C S 放送では当該画素数を 1,440 としているものが放送されている。
- ※ 2 … 高度広帯域伝送方式における一の映像の符号化された映像信号の水平方向の輝度信号の画素数は 1,920 以上となる。
- ※ 3 … 広帯域伝送方式における 1 中継器全体は 48 スロット相当となり、高度広帯域伝送方式における 1 中継器全体は 120 スロット相当となる。

➤ 衛星基幹放送に係る周波数の使用に関する基準 第 3 条（BS 放送）

伝送方式	テレビジョン放送	スロットの数
広帯域伝送方式	標準テレビジョン放送（一部の時間帯に、標準テレビジョン放送を含む複数の超高精細度テレビジョン放送以外のテレビジョン放送を同時に行う場合における当該標準テレビジョン放送を除く。）	六
	高精細度テレビジョン放送（一の映像の符号化された映像信号の水平方向の輝度信号の画素数を千四百四十としているもの）	十二
	高精細度テレビジョン放送（一の映像の符号化された映像信号の水平方向の輝度信号の画素数を千九百二十としているもの）	二十
高度広帯域伝送方式	高精細度テレビジョン放送（一の映像の符号化された映像信号の水平方向の輝度信号の画素数を千九百二十としているもの）	二十五
	超高精細度テレビジョン放送（走査方式にかかわらず有効走査線数が二千百六十本以上四千三百二十本未満であるもの）	四十
	超高精細度テレビジョン放送（走査方式にかかわらず有効走査線数が四千三百二十本以上であるもの）	百二十

➤ 衛星基幹放送に係る周波数の使用に関する基準 第 4 条（CS 放送）

伝送方式	テレビジョン放送	スロットの数
広帯域伝送方式	標準テレビジョン放送	六
	高精細度テレビジョン放送（一の映像の符号化された映像信号の水平方向の輝度信号の画素数を千四百四十としているもの）	十二
高度広帯域伝送方式	高精細度テレビジョン放送（一の映像の符号化された映像信号の水平方向の輝度信号の画素数を千九百二十としているもの）	二十
	超高精細度テレビジョン放送（走査方式にかかわらず有効走査線数が二千百六十本以上四千三百二十本未満であるもの）	六十

B S放送

※ 「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」衛星放送ワーキンググループ（第3回）資料3－3を基に作成。

従来のB S 2 K放送に使用されている、M P E G－2方式の12／14／16／18／20／24スロットについて、機械により複数の試験素材の画質の評価値を測定。また、H E V C方式についても同じ試験素材の画質の評価値を測定。当該試験素材のうちH E V C方式の符号化効率が最も悪かったものについて、両方式の評価値を比較。これにより、従来のM P E G－2方式による2 K放送と同等以上の画質が確保されるH E V C方式のスロット数を算出。

広帯域伝送方式	
M P E G－2方式のスロット数（※1）	1中継器あたりの最大チャンネル収容数（※3）
12スロット	4チャンネル
14スロット	3チャンネル
16スロット	
18スロット	2チャンネル
20スロット	
24スロット	



MPEG-2方式よりもHEVC方式の方が、より多くのチャンネルを収容できる。

高度広帯域伝送方式	
H E V C方式のスロット数（※2）	1中継器あたりの最大チャンネル収容数（※3）
15スロット	8チャンネル
20スロット	6チャンネル
25スロット	4チャンネル



上限スロット数に設定

C S放送

従来のC S 2 K放送に使用されている、M P E G－2方式の12スロットについて、B S放送と同様にM P E G－2方式とH E V C方式の評価値を比較。これにより、従来のM P E G－2方式による2 K放送と同等以上の画質が確保されるH E V C方式のスロット数を算出。

広帯域伝送方式	
M P E G－2方式のスロット数（※1）	1中継器あたりの最大チャンネル収容数（※3）
12スロット	4チャンネル



高度広帯域伝送方式	
H E V C方式のスロット数（※2）	1中継器あたりの最大チャンネル収容数（※3）
20スロット	6チャンネル



上限スロット数に設定

※1…ISDB-SのARIB標準規格STD-B20 2.2変調方式において、スロット数の最小単位は1と規定されている。

※2…ISDB-S3のARIB標準規格STD-B44 3.2多重信号のフレーム構成において、スロット数の最小単位は5と規定されている。

※3…広帯域伝送方式における1中継器全体は48スロット相当となり、高度広帯域伝送方式における1中継器全体は120スロット相当となる。